

救命活動功労者を表彰



表彰を受けた山田さん

今年の4月21日に人命救助を行ったとして山田美里さん（市内在住）に、五所川原地区消防事務組合管理者（平山市長）から、7月20日、救命活動功労者として表彰状が手渡されました。

当市唐笠柳字村崎地内の商業施設出入口付近で倒れている70歳代の男性を発見した山田さんは、施設従業員と協力し119番通報。発見当初は呼吸がりましたが、その後、呼吸停止状態となったため、心肺蘇生法を実施し、救急隊員に引継ぎしました。

この的確な判断と勇気ある行動によって尊い人命が救われ、男性は大きな後遺症もなく無事に退院することができました。年に1回程度救命講習を受けているという山田さんは「無事に助かり元気になって本当に良かった」と話しました。

五所川原第一中 全国大会出場



8月に行われる全国大会にそれぞれ出場する五所川原第一中学校の選手の皆さんが8月15日、市長を訪問しました。

第47回全国中学校柔道大会に出場する、柔道部主将の平山才稀さん（同中3年）は「昨年も全国に出場し、会場の雰囲気を感じることができた。今年は、自分のしてきた練習に自信を持って、勝ちに行きたい」、第46回全国中学校剣道大会に出場する渋谷海羽さん（同中2年）は「自分の剣道をしっかりと貫き勝てるようにがんばってきます」、第47回全国中学校卓球大会に出場する工藤夢さん（同中3年）は「3年間の集大成として全国大会を楽しんで来たい」と、それぞれの全国大会に向けた目標を話しました。

オリジナルフレーム切手寄贈

当市にゆかりのあるフレーム切手の発売にあわせ、青森県西部地区統括局長の岡部浩幸局長らが市長を訪問しました。

今年発売されたのは「五所川原立佞武多（7月25日発売）」「太宰治と斜陽館（8月1日発売）」の2種類で、発売日にそれぞれ当市へ寄贈されています。



寄贈されたフレーム切手
「五所川原立佞武多」(上)と
「太宰治と斜陽館」(右)



岡部局長は「立佞武多の切手はシリーズ7作目となり、毎年好評をいただいている。また、太宰・斜陽館の切手はファンからの熱烈な要望に応えるかたちで、7年ぶりに復活することが出来た。フレーム切手の販売が五所川原のPRに繋がれば幸いです」と切手発売までの経緯を話しました。

寄贈された2種類と同一のフレーム切手は、西北五地方を含む77郵便局で数量限定で販売されています。